

作成日 2010 年 4 月 15 日

改定日 2020 年 3 月 26 日

安全データシート

1. 【 化学品及び会社情報 】

製品名	ムシラップ	
供給者の会社名称	丸和バイオケミカル株式会社	
住所	東京都千代田区神田須田町 2-5-2	
担当部門	開発本部 登録・環境グループ	
電話番号 / FAX	Tel: 03-5296-2313	Fax: 03-5296-2323
推奨用途	殺虫殺菌剤	
使用上の制限	農薬登録以外の使用は不可	
整理番号	22477-06	

2. 【 危険有害性の要約 】

化学品の GHS 分類(分類 JIS)

物理化学的危険性	引火性液体	区分 3
健康有害性	皮膚感作性	区分 1B
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分 2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分 3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
引火性液体および蒸気
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に有害
熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースを取ること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。

【保管】
【廃棄】

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
内容物、容器を関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。
都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。

3. 【 組成及び成分情報 】

化学物質・混合物の区別 混合物
 化学名又は一般名 ソルビタン脂肪酸エステル

成分及び含有量	化審法 No.	安衛法 No.	CAS No.
<有効成分>			
ソルビタン脂肪酸エステル	70.0%		非公開
<その他>			
乳化剤、有機溶剤等 (イソブタノール	30.0% 10-20 %)	2-3049	78-83-1

4. 【 応急措置 】

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 皮膚に付着した場合 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ/取り除く。皮膚を水で洗う。
 多量の水で洗う。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受ける。
 眼に入った場合 水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易
 に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
 飲み込んだ場合 気分が悪い時は医師/中毒情報センターに連絡する。

5. 【 火災時の措置 】

適切な消火剤 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、
 霧状水
 使ってはならない消火剤 情報なし
 火災時の特有の危険有害性 情報なし
 特有の消火方法 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作
 業は、可能な限り風上から行う。
 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しない
 よう適切な措置を行う。
 消火活動を行う者の特別な 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
 保護具及び予防措置

6. 【 漏出時の措置 】

人体に対する注意事項、 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡)を着用する。
 保護具及び緊急時措置 多量の場合、人を安全に退避させる。
 必要に応じた換気を確保する。
 環境に対する注意事項 環境への放出を避けること。
 封じ込め及び浄化の方法 少量の場合、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除
 いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
 及び機材 多量の場合、盛り土で困って流出を防止し、安全な場所に導いてか
 ら処理する。
 二次災害の防止策 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
 火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 【 取扱い及び保管上の注意 】

取扱い
 技術的対策 取扱場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
 安全取扱注意事項 火気厳禁。
 貯蔵条件によって、成分の一部が析出・沈でんすることがある。その
 ときは加温・溶解し、均一化して使用する。
 適切な排気換気装置を使用する。
 取扱後は手をよく洗う。
 適切な保護具を着用する。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない。

接触回避	情報なし
保管	
安全な保管条件	容器を密閉して換気の良い場所で保管する。 火気厳禁。
安全な容器包装材料	製品の容器包装材料にて保管する。
8. 【 ばく露防止及び保護措置 】	
許容濃度等	
管理濃度	50ppm イソブチルアルコール
日本産業衛生学会(2019年)	50ppm(150mg/m ³) イソブチルアルコール
ACGIH(2018年)	TWA 50ppm、STEL - イソブタノール
設備対策	取扱場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 局所排気装置(設備)を使用する。 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
保護具	
呼吸用保護具	必要により有機溶剤用防毒マスク
手の保護具	耐溶剤性保護手袋
眼、顔面の保護具	側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具	耐溶剤性保護衣
9. 【 物理的及び化学的性質 】	
物理状態	液体
色	黄色
臭い	特異臭
融点/凝固点	-1.9℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界 /可燃限界	情報なし
引火点	39℃(セタ密閉式測定器)
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	7.0(1%水溶液)
動粘性率	196.1mPa・s(20.0℃) 93.6mPa・s(30.0℃) 57.6mPa・s(40.0℃)
溶解度	水溶解性: 乳化する 溶媒溶解性: 情報なし
n-オクタノール/水分配係数 (log値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	1.003g/mL(20.0℃) 0.996g/mL(30.0℃) 0.989g/mL(40.0℃)
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	非該当
10. 【 安定性及び反応性 】	
反応性	情報なし
化学的安定性	情報なし
危険有害反応可能性	引火性のガス/蒸気が発生することがある。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	危険・有害な分解生成物はない。

11. 【 有害性情報 】

急性毒性(経口)	ラット LD ₅₀ : ♂ ♀ >5000mg/kg マウス LD ₅₀ : ♂ ♀ >5000mg/kg(区分に該当しない)
急性毒性(経皮)	ラット LD ₅₀ : ♂ ♀ >2000mg/kg(区分に該当しない)
急性毒性(吸入)	情報なし
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ:未希釈、4 時間 半閉鎖貼付試験 (OECD 法、農薬ガイドライン準拠)(区分に該当しない) ウサギ:未希釈、Draize 法(区分に該当しない)
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	ウサギ:未希釈、Draize 法(区分に該当しない)
呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器感受性:情報なし 皮膚感受性:モルモット GPMT 法 ;陽性、区分 1B Buehler 法;軽度の皮膚感受性を示す(未希釈)、区分 1B 皮膚感受性を示さない(100 倍希釈液)
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし
誤えん有害性	情報なし

12. 【 環境影響情報 】

生態毒性	
魚類	コイ LC ₅₀ (96h):68.1mg/L
甲殻類	ミジンコ EC ₅₀ (48h):2.77mg/L
藻類	緑藻 ErC ₅₀ (72h):12.9mg/L 短期(急性):ミジンコの EC ₅₀ 値より、区分 2 とした。 長期(慢性):区分 3 本混合物の成分 1%については水生環境有害性が不明である。
残留性/分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13. 【 廃棄上の注意 】

化学品、汚染容器及び包装の 安全で、かつ環境上望ましい 廃棄、又はリサイクルに関する 情報	7. 【 取扱い及び保管上の注意 】の章を参照。 内容物、容器を関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄 すること。 都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に 委託して適切に処理すること。 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
--	---

14. 【 輸送上の注意 】

国連番号	1993
品名(国連輸送名)	その他の引火性液体(他の危険性を有しないもの)(イソブタノール)
国連分類	3 (引火性液体)
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策	6. 【 漏出時の措置 】の章を参照。 7. 【 取扱い及び保管上の注意 】の章を参照。 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷くずれ防止を確実にを行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。 火気厳禁。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
応急措置指針番号	128

15. 【 適用法令 】

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

農薬取締法	第 22477 号
労働安全衛生法	第 57 条 表示対象物、第 57 条の 2 通知対象物 ブタノール(イソブタノール/イソブチルアルコール)(政令番号 477) 施行令別表6の2、有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤 施行令別表1-4 危険物・引火性の物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
火薬類取締法	該当なし
高圧ガス保安法	該当なし
消防法	危険物第 4 類第 2 石油類(非水溶性)
船舶安全法	危規則第 3 条危険物告示別表第 1 引火性液体類
航空法	施行規則第 194 条危険物告示別表第 1 引火性液体

16. 【 SDSの作成と改訂に関する情報を含むその他の情報 】

事故に伴い急性中毒の恐れがある場合

公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒110番

	一般市民専用電話 (通話料のみ)	医療機関専用有料電話 (1件につき2000円)
大阪中毒110番 (年中無休、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば中毒 110 番 (年中無休、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

記載内容は十分な配慮に基づき作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。本データシートは情報を提供するものであって、品質や安全性等に関していかなる保証もするものではありません。危険・有害性等の評価は必ずしも万全ではありませんので、取扱いには十分注意を払って下さい。また、注意事項は通常の実施を前提としております。